



夢をきずく

I いな小・ワクワクプラン 特別号



Iinagawa INAsyou WAKUWORK PLAN

～[令和8年度版]～

昨年度、学校評価の分析や学校運営協議会委員や教職員による検討を重ね、この度、猪名川小学校『あいあい・ワクワクプラン』（10項目）を令和8年度版に改訂しました。

本プランのもと、子ども達が明るく健やかに育つとともに、教職員が心身ともに健康で児童と向き合える時間を確保していきます。学校評価の課題解決を図りながら、授業を中心とした質の高い学びの環境を整え、子どもの確かな学力と豊かな人間関係の育成に最大限努めてまいります。

1 **【改】**始業式後・終業式前の短縮授業

給食開始から約1週間は、6時間授業の日を4～5時間授業に短縮します。

終業式前にも同様に短縮授業を行います。

特に、4月を1年生は4時間授業、2～6年生は5時間授業にすることで、児童・教職員共にゆとりあるスタートを設定します。

2 **【継】**金曜日を5時間授業（対象は3～6年生）

3 **【継】**1学期の授業時間の一部削減

1年生は金曜日を4時間授業、2年生は火曜日を5時間授業とします。

【上記1～3を実施しても、国が定める総授業時数を満たすことは確認しています。】

4 **【継】**水曜日の下校時刻を10分繰り上げ

職員会議・研修会を行う水曜日は簡単掃除を行い、10分下校時刻を繰り上げます。

【上記1～4を実施しても、登校時刻の変更はありません。】

5 **【改】**行事の再編

スリム化を維持しながらも「例年どおり」ではなく、高い教育効果を得るための見直しを行います。また、昨今の気温の上昇を考慮し、運動会前後やプール指導において子どもたちの負担を軽減できるような教育課程を編成します。



ここで生じる時間を活用して…



6 **【改】**子どもと担任による教育相談

2、3学期始業式後の短縮期間（1学期は、学年ごと適宜実施）で、「学校生活アンケート」を基に担任による**教育相談**を行います。「学校生活アンケート」や教育相談の場の見直しを行います。

7 **【継】**保護者と担任による教育相談

5月7日(木)～8日(金)に、希望する保護者と担任による教育相談を行います。学年のスタートとして、教育相談の希望を促します。

8 **【継】**朝学習の時間増

朝学習の時間を10分→15分に増やし、授業の予習・復習につなげます。

9 **【改】**自主研修会の実施

金曜日に**講師を招聘しての算数科研究のための学団・学年研修**のほか、**教職員が自主的に交換授業研究**、ICT活用や授業実践（板書・ノートの書き方等）、児童理解、人権等の研修会を行う時間の確保をします。

10 **【改】**学習内容に応じた担任交換授業の実施

3～6年生で担任交換授業を継続して行い、**教員自身の得意分野を活かした質の高い授業**を行います。



『学びの質の向上のため』

- ・学習意欲をかき立てる**授業導入**になるよう、工夫していきます。
- ・タブレットや電子黒板を効果的に活用できるよう準備・実践していきます。
- ・子どもたちの**授業の振り返り**を、次の授業に生かしていきます。
- ・授業や宿題、いなぼう学習タイムの**課題プリントの効果**を十分に検討・作成します。
- ・教員間で**授業実践の共有や相談**を積極的に行います。
- ・チームで考え学びあう校内研究を通して、教師間の検討時間を設定します。
- ・居心地良い(ユニバーサルデザイン化)教室、集中できる教室環境をつくります。
- ・探求する力、主体的に学ぶ姿勢を育てる「猪名川学」を実践していきます。



『子どもの困り感の未然防止のために』

- ・教師間で**児童理解の交流**を積極的に行い、いじめ等の未然防止を行います。
- ・子どもたちに寄り添い、**保護者との連絡・報告・相談**を行います。
- ・**スクールソーシャルワーカー(SSW)、スクールカウンセラー(SC)との連携**の時間を増やします。

『他者との交流、活発なボランティア活動のために』

・「猪名川学」や「福祉教育」を中心として、学びが深まるゲストティーチャーを招へいし、校外学習、学年での活動、ボランティア協力依頼の計画をたてます。

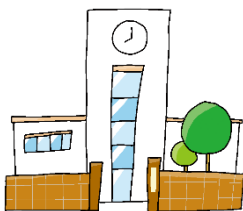
『校内環境整備のために』



- ・当番活動だけではなく、自主的な委員会活動(5、6年生)を推進できるよう年間計画をたてます。
- ・トイレを含めた清掃活動の見直しを子ども達の手で維持することができるよう図り、明るくなった校舎の環境維持を行います。
- ・衛生環境の維持・危険箇所の早期発見と排除のために、各担当者による毎月の安全点検を行い、速やかに修繕・修理を行っていきます。

この『I いな小・ワクワクプラン』令和 8 年度版を改定するにあたり、昨年度の学校評価「保護者アンケート」を参考に策定しました。

- 1 先を見通した学習活動の計画を立て、早めに募集をかける
- 2 具体的なボランティア内容を伝え参加される方への見通しを図る
- 3 スクリレを活用して、ボランティアの募集内容や集まり具合を伝える
- 4 活動後の子どもの感想等、効果の伝達を行う



今年度も、保護者・地域の皆様には、学校運営協議会委員の皆様のお知恵をお借りしながら、ボランティア協力をお願いしてきたいと思います。

ご理解をどうぞよろしくお願いします。

『いのちを大切に

なかまを大切に

がんばりを認める

わからない(困った)が言える』いな小っ子

